



2021年7月号

Happy通信



気持よく晴れわたった暑い日が続き、夏の訪れを感じます。

体調管理に気をつけて、夏休みを迎いましょう。

それでは、今月も教室のトッピックスを沢山お届けします。ご覧ください！

【6月のトレーニング】

- 6月 7日～ はさみの使い方
- 6月 14日～ お礼やお願ひの言葉
- 6月 21日～ 衛生管理
- 6月 28日～ 言葉を書く・文を書く

【★6月のトレーニング★】

8日 【線路を走ろう！】

運転したい電車のイラストを切ったり、駅を作ったり、みんなで協力して線路を繋げたりといった活動をしています。授業の後半には、それぞれが運転手や乗客になりきって、線路を走りました。運転手さんは「何駅に行きたいですか？」と声をかけ、PASMOカードに優しくシールを貼ってあげることができていました。お客様も行きたい駅を伝えることやお礼を言うことができています。児童同士の会話も見られ、楽しく活動することができました！



16日【レスキュー隊】

困っているお友達を助けるために、みんなにレスキュー隊になってもらいました！忘れ物をしてしまった子、道に迷ってしまった子などのイラストをみて、適切なお助けグッズを見つけることができています。渡すときと受け取ったときには、「〇〇どうぞ。」や「ありがとう。」という声掛けも多くみられました。また、選んだ理由や使い方を教えてくれている児童もいました。



30日【これは何でしょう？】

サーキット上に落ちている文字カードを拾い、みんなで拾ったカードを並べ替えるとどのような言葉になるかを当てる活動をしました。後半は、パズルのピースを拾い、みんなでパズルを完成させて何のイラストが描いてあるかを一緒に考えました。平均台から落ちないようにしゃがんでカードを拾うことや

「いすか？」「すいか？」と声に出しながら

みんなで答えを見つけることができています。



【通学路・安全経路の確認について】

緊急連絡票のご提出、また裏面の通所ルートのご記入、誠にありがとうございます。

今一度、ご家庭でお子様の通学路やハッピーテラスへの通所経路に危険個所がないか等の安全の確認をお願い致します。ハッピーテラスでも危険個所の見直し等行ってまいりますので、未提出の方はご提出をお願い致します。

【新型コロナウイルス対策について】

ご来所の際は、コロナ感染症の予防として、教室内でのマスク着用をお願いしております。何卒ご理解・ご協力のほどお願い致します。また、職員もマスク着用で対応させていただきます。

教室入室前の手洗い、うがいに加えて検温、アルコール消毒を実施しています。ご協力の程、よろしくお願い致します。

また、マスクを忘れてしまう児童や、遊びの中で破損してしまうケースもありますので、予備を持たせていただけると幸いです。

【もし、濃厚接触者が出た場合はご連絡ください】

・万が一身近な人に濃厚接触者が出了た場合は教室までご一報いただけますと幸いです。

・また、濃厚接触者ではないが芝浦教室に通ってもいいのか不安になった際は、いつでもご連絡・相談ください。

【RSウイルス感染症にも注意!!】

RSウイルス感染症とは、RSウイルスの感染による呼吸器の感染症です。非常に感染力が強く、近年では夏季より流行が始まるようになってきています。

風邪の症状に加え、喘鳴を伴った呼吸困難等の症状がみられます。

感染の多くは、飛沫感染・接触感染によるものであるため、コロナウイルス対策と併せて、手洗い・うがい、マスクの着用を徹底していただけすると幸いです。

【熱中症対策について】

近年、熱中症による健康被害が数多く報告されており気温の高い日が続いているおります。芝浦教室ではエアコンによる温度調節、定期的な換気、経口補水液や保冷剤、タオル等を常時準備し、熱中症対策を行ってまいります。

また、教室にてこまめな水分補給を行うため、水筒をご持参していただけますようお願いいたします。



【7月のトレーニングの予定】

- 7月 5日～ 火の扱い/防災
- 7月 12日～ 謝る言葉
- 7月 19日～ 詳しい説明①
- 7月 26日～ 片付け



Happy通信コラム(第12回案)



第12回 非言語的なアサーション(感情表現編①)

今回からは、非言語的なアサーションの中の感情表現についてご紹介します。

一般的に感情表現と聞くと、言語での表現を思い浮かべる方が多いかと思われます。特に他者と顔を合わせての対人コミュニケーションの場面では、非言語的な表現が極めて重要な働きをしています。

具体的には、「嬉しい！」と感じたときに、言葉でのみ「嬉しいです」と伝える、声の調子や表情、身振りなどが、嬉しさを伴うものでなければ、嬉しい気持ちは適切に伝わりにくいことが予想されます。

このことを踏まえて、感情表現のポイントについて、ご紹介していきます。

◆感情に善し悪しは無い

仮に、喜怒哀楽を【善い感情】と【悪い感情】に分けるとすると、どう振り分けるでしょうか。

恐らく多くの方が【善い感情】を喜と楽、【悪い感情】を怒と哀と分けるのではないでしょうか。

上記のように分けること自体は、非常によく分かりますが、厳密に言うと、正解ではありません。

これは、私がよくアンガーマネジメントを担当するときに説明することなのでですが、感情それ自体には、善悪はありません。

では、何故多くの人が冒頭のように、喜と楽にプラスイメージを持ち、怒と哀にマイナスイメージを持つのはなぜでしょうか？



Happy通信コラム(第12回案)



第12回 非言語的なアサーション(感情表現編①)

答えは単純です。その感情に伴って起こる行動が、喜と樂では、世間一般的に善い行動が多く、怒と哀では、世間一般的に悪い行動が多いからです。

しかし、それらのイメージは、あくまで感情の結果で起こってくる行動に対するものであり、感情そのものには、本質的には善も悪も無いのです。

それにも関わらず、私たちは表出して良い感情と、そうでない感情、言つてもいい人とそうでない人などを区別し生活しています。

その結果、上手く自分の想いを伝えることができず「本当はあの時、～だった」というような事態が起こってきます。

このような観点からも、本来は、感情を表現すること自体は制限されるべきではないように思います。しかしながら、先にも書いた通り、感情のまま不適切な言動で表出してはマイナスイメージを持たれてしまいます。そのため、真に重要なのは、「表出した結果、相手を侵害することが無いこと」、そして、「それを受けての相手の感情も何らかの形で受け止めていくこと」が重要なのです。

いかがでしたでしょうか。今回は導入として、感情の良し悪しについて、少し詳しく説明させていただきました。

次回も引き続き、非言語的なアサーションの感情表現のポイントについてご紹介いたします。

